

教育だより

発行: 芦別市教育委員会学務課

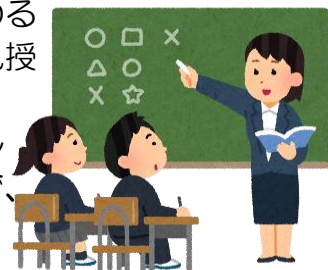
☎0124-27-7586

目次	1面	目指す子どもの姿を共有し小中一貫教育を推進
	2面	1人1台端末を活用した学習活動が開始、ICTを活用した授業づくりに向けて
	3面	令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について
	4面	リレーでつなぐ学校紹介(上小)、通学路合同点検を実施しました

目指す子どもの姿を共有し小中一貫教育を推進

本市の小中一貫教育は今年度から本格的に導入となり、目指す子どもの姿である『郷土に愛着をもつ子ども』『進んで学習に取り組む子ども』『豊かな心をはぐくむ子ども』『たくましく健やかな体をはぐくむ子ども』の育成を目標に掲げ、『「星の降る里あしべつ」に愛着をもつ子の育成』をスローガンに取組を進めています。芦別中学校区と啓成中学校区ごとに、活動計画を「小中一貫教育推進プランニングシート」におとし、教職員が共通認識のもと具体的に活動を推進します。

芦別中学校区は、芦別小学校が北海道から「学校力向上に関する総合実践事業」の指定を受けたことから、『学校力向上』に関して、小中学校の接続を意識した学習スタイルの確立～9年間の系統性を意識して～を今年度の重点とし、6月に関係の先生方が集まり、意見交換会を実施。小中学校で統一した板書スタイル「芦別スタンダード」の確立を目指そうと、黒板で使用する「課題」「まとめ」の色の確認、チョークの使い方、板書に関わるマークの統一について検討しました。今後は、外国語教科での乗り入れ授業(11月頃)、先生方による授業参観交流を計画しています。また、対面での活動や交流がなかなか難しい現在、GIGA(ギガ)スクール構想により、学校の通信ネットワークや1人1台端末が整備されたので、それらの機器を活用して、様々な場面で工夫しながら取組を進めていく予定です。



啓成中学校区は、『キャリアノートの活用と検証』を今年度の重点とし、取組を進めています。6月は授業交流月間として、上芦別小学校の6年生「国語」と3年生「理科」の授業を啓成中学校の先生方が参観しました。今後も授業交流月間や、啓成中学校で行われる教育振興会主催の公開研究会を通して、先生方の連携を深め学力向上につなげていきます。また、12月にはスポーツ(部活動)交流会を計画しており、児童生徒及び先生方が交流・連携する取組を行う中で、中1ギャップの未然防止を図ります。



本市では、キャリア教育やふるさと教育の活動を児童生徒が記録していくため、キャリアノートを活用しています。自分ができるようになったことを振り返り、次の学年や進学した学校での新たな目標づくりにつなげ、小中学校の先生方の引継ぎにも活用しています。また、地域学習で行ったことや発見したことなどを記入しながら積み上げ、小中の学びをつないでいくこととしています。

このように、学びをつなぐ、ふるさとを学ぶ、人と人がつながるなどの具体的な教育活動を通して、スローガンである「星の降る里あしべつ」に愛着をもつ子の育成を目指していきます。

1人1台端末を活用した学習活動が開始

学習指導要領の改訂に伴い、ICT機器を活用した教育やプログラミング教育の実施が必須となっている現代の学校教育。芦別市は3月末に「GIGAスクール構想」に基づき、市内小中学校の校内ネットワークを整備し、4月からは1人1台のタブレット型端末を活用した学習活動が本格的に始まり、本市のICT教育がスタートしています。

各学校での1人1台端末の主な活用方法は、インターネットを利用した調べ学習や、スライドを作成、使用したまとめの発表、画面共有機能を活用した話し合いの場での意見交換など、多岐にわたります。これまで紙媒体で行っていた作業をICTを活用することにより、1人ひとりの考えを瞬時に画面上で共有でき、限られた時間を有効に活用することができるようにもなりました。

また、体育の授業では自分の動作を端末の録画機能を使って撮影し、動作の改善に役立てたり、音楽の授業では簡単な作曲ソフトを利用した作曲体験をしたりと、教科ごとに工夫しながら活用しています。



教育委員会では、ICT教育の更なる推進に向け、教職員を対象としたICT活用指導能力の向上を図るための研修を実施し、子ども達が今まで以上に学習意欲をもって取り組めるような授業づくりを目指しています。また、新型コロナウイルス感染症による臨時休業等に対応するため、端末の持ち帰りについても、各学校やご家庭との連携を密にしながら取り進めてまいります。

ICTを活用した授業づくりに向けて

1人に1台のタブレット型端末が整備され、市内小中学校の教職員は、ICTを活用した授業づくりに向けて、日々研究しています。

7月30日（金）には、教職員がタブレット型端末でできる基本的な機能や操作などを学び、



授業で有効に活用できるよう、教育委員会が主催して研修講座を開催しました。

研修講座は、北海道立教育研究所（江別市）に講師を依頼し、参加する教職員はそれぞれの学校に滞在しながら参加できるよう、北海道立教育研究所・市内小中学校4校・教育委員会の計6か所をZoom（ズーム）※でつなぎ、オンラインで開催し「授業での1人1台端末の活用方法」について演習を行いました。

演習では、タブレット型端末を使い、生徒役となった教職員が実際に出題された問いにオンラインで回答し、その回答された内容を教師はどのような画面で見ることができるのかを確認したり、画像を貼り付けてグループで共同編集するなど、授業で活用できる基礎的なことを学びました。

今後は、学んだことを授業に取り入れていくことで、さらに色々な活用方法のアイデアが生まれ、児童生徒の学習意欲や学力の向上につながることを期待されます。

※パソコンやスマートフォン、タブレットなどを通して、オンラインにより複数人でのビデオ通話を可能にするサービス。

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について

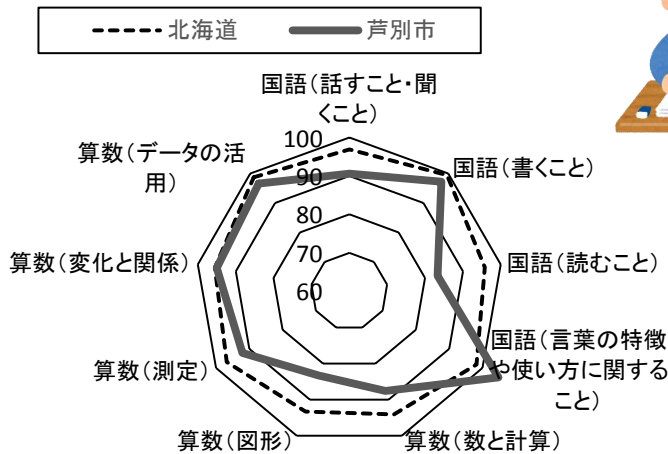
毎年4月に、文部科学省が全国の児童生徒の学力や学習状況を把握するため、全国学力・学習状況調査を実施しています。昨年度は、新型コロナウイルス感染症のため実施されませんでした。今年度は1カ月遅い5月27日（木）に実施されました。学力調査の結果概要についてお知らせします。なお、調査結果の詳細については、後日、市のホームページでお知らせします。

子どもたちの学力は、少しずつ伸びています！

グラフは教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び芦別市の状況をレーダーチャートで示したものです。

(芦別市の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出しています。)

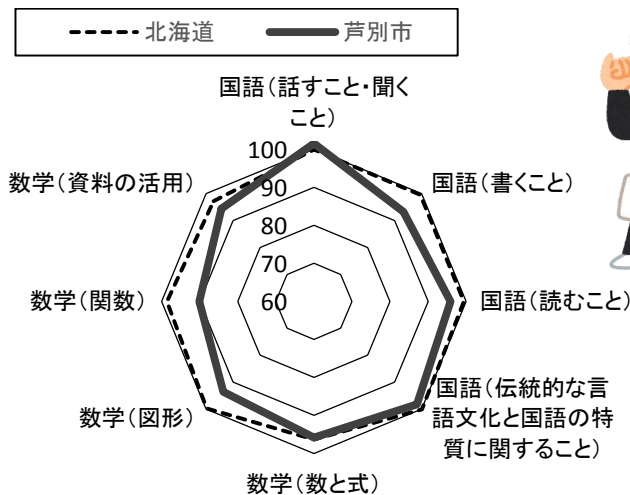
【小学校6年生の教科全体の状況】



小学校の分析

全体的に全国・全道平均と比較して低い結果となっていますが、国語の「言葉の特徴や使い方に関する」事項では全国・全道を上回っています。算数の「図形」は三角形の面積を求める問題でした。高さの概念が不十分なため不正解の児童が多くいました。

【中学校3年生の教科全体の状況】



中学校の分析

全体的に全国・全道平均に近いと言えますが、「話すこと・聞くこと」全国・全道を上回っています。数学は「関数」が少し落ちるものの他の事項は全国・全道に近づいています。今までは無回答の生徒が多い傾向にありましたが、今回は全国・全道と比べても少ない傾向にありました。

保護者・地域の皆さまへ

教育だよりは、本市の学校教育の現状や課題、さまざまな施策や取組などを広く市民の皆さんに知っていただき、情報を共有するため年3回発行しています。

本市の学校教育の向上に関するご意見を「郵送」、「ファックス」、「電子メール」(様式自由)にてお寄せください。

【送付先】〒075-8711 芦別市北1条東1丁目3番地 芦別市教育委員会学務課学校教育係

【電話】0124-27-7586 【ファックス】0124-22-9696

【電子メール】gakumu@city.ashibetsu.hokkaido.jp

～リレーでつなぐ学校紹介～

リレー方式で市内の教育機関の取組を掲載しています。

第4回目は
上芦別小学校!

上芦別小学校『Zoom』を活用した遠隔学習

今年度もコロナ禍で、6月に予定していた運動会を7月に延期するなど、活動を制限せざるを得ない状況で、可能な限りの教育活動を展開してきました。その一つをご紹介します。

◎ 総合的な学習の時間でのZoomを使った農業学習

7月9日（金）三笠市立三笠小学校と由仁町の農家、本校をZoomで結び、3者で農業に関する合同学習を行いました。

参加した両校5年生の児童は、画面が映し出された大型モニターのある教室から、由仁町の農家の方は、自身が経営する水田の現場から、農業の概要を質疑応答を交えながら、児童にわかりやすいように工夫した説明をしていただきました。

当日、時間の都合で回答しきれなかった質問に対しては、後日、由仁町から『大人の夏の自由研究』と題した授業に役立つ、より詳しい回答集が送られてきました。児童にとっても大人にとっても、地域振興のためのより良い学習の機会となりました。

今回は、Zoomで遠方の地域教育資源を活用した紹介でしたが、各ご家庭でもコミュニティ・スクールとして活動できることがあります。それは、「学習・生活習慣の定着」「ゲームやメディア利用の制限」「本や活字に触れる機会の拡充」等に取り組むことです。

我がふるさと『芦別』のために、より保護者や地域の皆様との連携を深めた教育活動を展開していきますので、ご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

上芦別小学校 校長 壽崎 正人



通学路合同点検を実施しました

芦別市通学路交通安全推進協議会により毎年度実施している通学路合同点検を、今年度も7月28日（水）に、関係者・関係機関の方々にご参集いただき、総勢18名で実施しました。

この協議会は、保護者、道路管理者、交通安全対策関係者、警察署員、市内の小中学校教職員、教育委員会職員で構成されており、毎年コースを変更したうえで、本町地区では2コース、上芦別地区は1コースを設定して点検しています。

点検は徒歩で行っており、危険箇所や疑問等があればその場で確認したり、意見交換を行います。今年度の点検コースでは即座に対応すべき危険箇所は見当たりませんでした。しかし、今後に向けて改善の余地がある箇所などは各関係機関で持ち帰って意見を集約中であり、今後回答を取りまとめたいと検討していきます。



この点検結果については、最終的に全ての意見等がまとまり次第、市の公式ホームページ※に掲載する予定です。

市民の皆様も、子ども達の通学路のことで何か気になることがあれば、教育委員会学務課までご連絡ください。



※令和2年度の点検結果はこちら。右のQRコードからもご覧になれます。→
<https://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/docs/4806.html>